



日本財団 災害復興支援報告書 2023

総支援事業数

225

令和5年能登地方地震—8事業

令和5年梅雨前線による大雨および
台風第2号—22事業

令和5年6月末から7月の大雨—87事業

令和5年台風第13号—18事業

令和6年能登半島地震—90事業



日本財団
2023年度
災害復興支援活動



目次

2023年度の災害概要 — 2

2023年度 日本財団災害復興支援活動

令和5年能登地方地震 — 4

令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号 — 5

令和5年6月末から7月の大雨 — 6

令和5年台風第13号 — 7

令和6年能登半島地震 — 8

支援事業一覧 — 10

日本財団災害復興支援特別基金 — 16

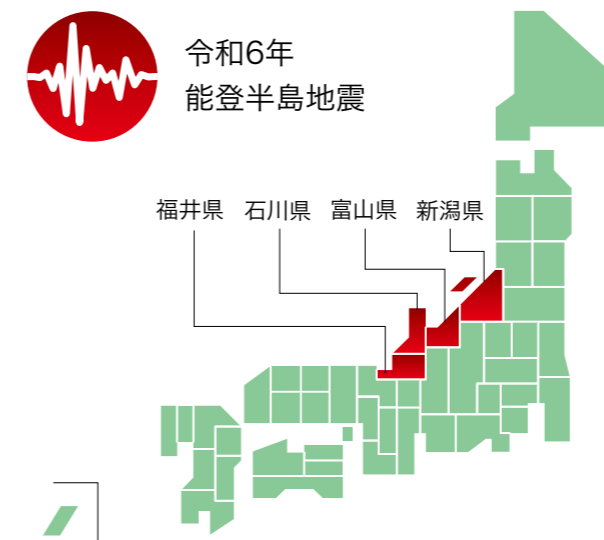
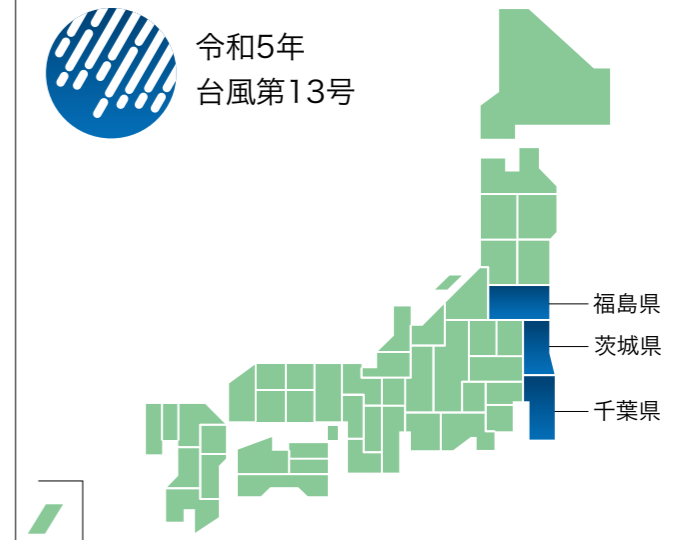
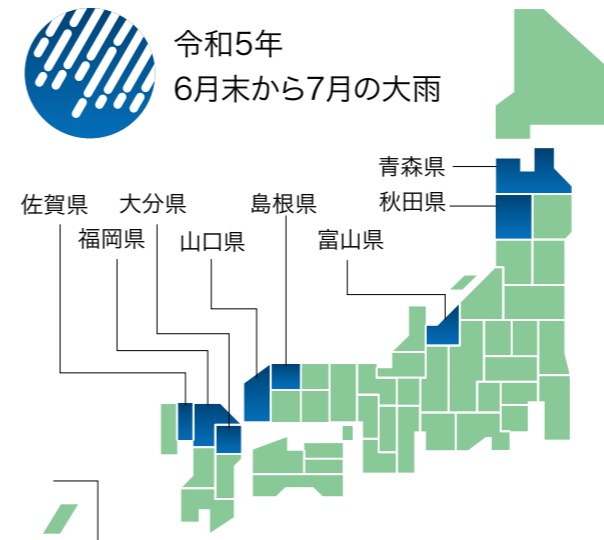
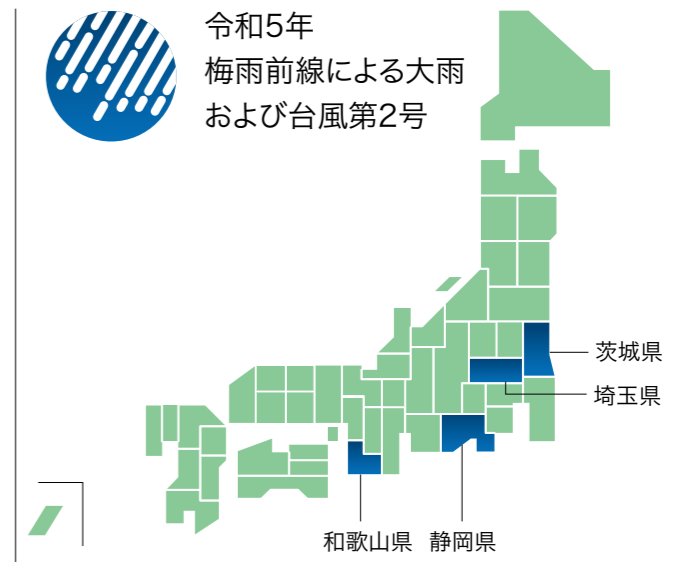
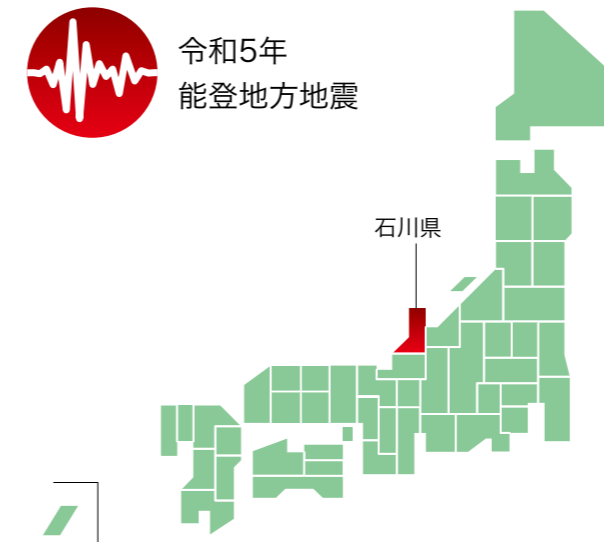
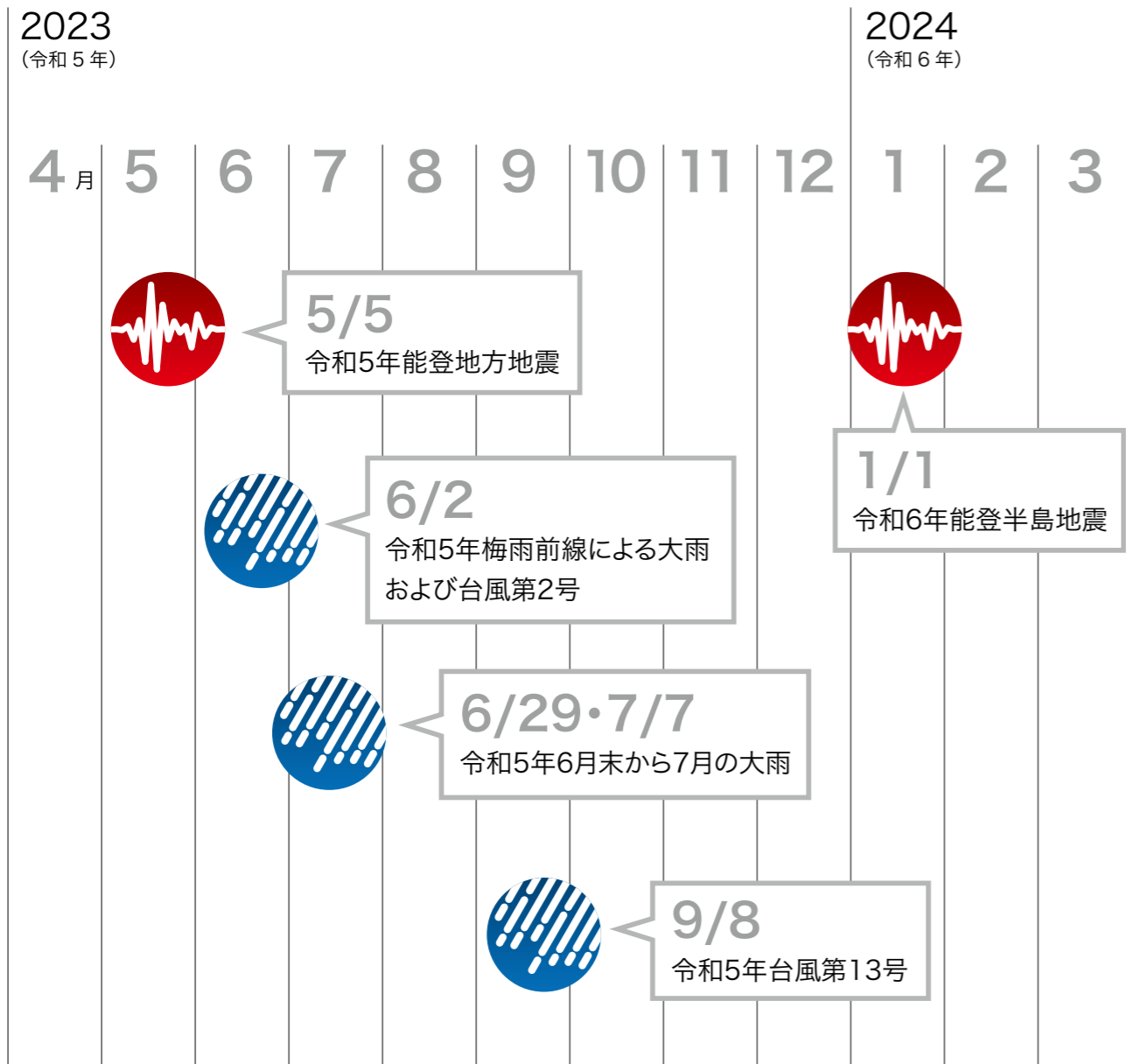
編集後記 — 17



2023年度の災害概要 (日本財団が支援した災害救助法適用地)

2023年度は大雨や地震により日本各地が被災地となりました。5月の能登地方を震源とする震度6強の地震にはじまり、6月以降は梅雨前線の発達による線状降水帯や台風の発生が全国で相次ぎ、複数の地域で水害が発生。そして、翌年の1月1日にはマグニチュード7.6の地震が再び能登地方を襲い、「能登半島地震」と称せられる大規模災害が発生。絶えず災害が発生した年となりました。被害に遭われた皆さまやそのご家族に心よりお見舞い申し上げます。

日本財団は民間の立場で迅速かつ的確な支援を実施するため、頻りに現地に赴き、自治体やNPO等と密に連携してまいりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。



令和5年能登地方地震



2023年5月5日14時42分ごろ、石川県能登半島沖を震源としたマグニチュード6.0の地震が発生。石川県珠洲市では震度6強を観測し、能登町では震度5強、輪島市では震度5弱を記録し、上記地域において災害救助法が適用されました。住宅被害は全壊、半壊、一部損壊を合わせ3,422棟に上りました。瓦の落下や壁のひび割れなど多くの被害が出ました。（令和6年3月6日 消防庁）

令和5年梅雨前線による大雨 および台風第2号



2023年5月下旬に発生した梅雨前線および台風2号の影響により、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、線状降水帯が発生しました。1時間に80ミリ以上の猛烈な雨が降り、1時間降水量が観測史上1位の値を更新した地点もありました。また、降り始めからの雨量は東海地方で500ミリを超えたほか、四国地方、近畿地方、関東地方でも400ミリを超え、平年の6月の月降水量の2倍以上となりました。災害救助法が静岡県磐田市、埼玉県草加市、越谷市、北葛飾郡松伏町、茨城県取手市、和歌山県海南市に適用され、全国での住家の全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の合計は10,113棟に上りました。（令和5年6月23日 気象庁）

NPO 活動例 (特非)災害看護研究所 (完了報告書より抜粋 R5.11.30)

戸別巡回訪問では、被災後に持病が悪化している住民なども散見されるため、地元保健師との情報共有やかかりつけ医への通院を促すなどの介入を行ってきました。訪問中に身体症状が悪化し倒れたケースなどもあり、看護師が直接住民を訪問したことで早急な対応に結び付け、同時に健康に関する困りごとや不安などの相談にも応じました。高血圧の自覚症状に乏しい住民も散見され、医療機関への受診行動を促すといった対応を行い、被災住民の健康障害の予防に一定の成果はあったと考えています。



正院地区では甚大な被害が生じている家屋が多く、住民らは転居や再建などの決断を迫られている状況でした。それらの対応に必要な申請等に不安を抱える住民に対しては、行政との仲立ちができるよう情報共有を行いました。



住民の避難や転居などに伴い地域コミュニティにも変化が生じており、住民間の交流の場を確保するための支援も必要でした。健康管理や継続的なメンタルヘルスケアの観点からも、ワークショップを主軸とした集合的なアプローチが効果的であるとと考えています。

NPO 活動例 災害支援ネットワークNPOかけはし (完了報告書より抜粋 R6.01.20)

家の屋の応急復旧で訪問したお宅では、必ず「水に濡れてしまったアルバムはありますか？」という声掛けを行いました。ONE TEAMさんの活動に参加や協力しているメンバーの「アルバムはありますか？」という声かけのおかげでアルバムを救済することができました。綺麗に洗浄したアルバムを手にされた被災者さんは、たった1枚しかない思い出の写真を見ながら、涙ぐまれる方もおられました。



ある娘さんから「私の写真はデータでも持っているので、最悪救出できなくてもよいのですが、父親と母親の若い頃の写真だけはなんとか救出したいんです」と。アルバムごと水に浸かっていて泥汚れもひどかったので、1枚1枚アルバムから剥がしました。途中娘さんから「父が心配しているのですが、費用はいくらくらいかかるのでしょうか？」と聞かれ、私は「お金は要りません。ご心配なく」と答えると「ありがとうございます。助かります。」その一言だけで嬉しく思いました。今後仲間が引き続き作業に入らせていただく予定です。





令和5年6月末から7月の大雨



2023年6月28日から7月6日にかけては、活発な梅雨前線の影響で、全国的に大雨となり、山口県や熊本県、鹿児島県で線状降水帯が発生しました。6月28日から7月6日の総降水量は、九州では700ミリを超え、九州北部地方を中心に平年の降水量を超えた地点もありました。また、7月7日から7月10日にかけては、梅雨前線が西日本から東北地方付近に停滞し、九州北部地方や中国地方を中心に大雨となりました。8日は島根県、10日は福岡県、佐賀県、大分県で線状降水帯が発生し、気象庁は10日朝に福岡県と大分県を対象に大雨特別警報を発表しました。総降水量は、九州北部地方で600ミリを超え、九州北部地方や中国地方では、4日間で平

年の7月の月降水量を超えた地点もありました。7月11日から7月13日にかけては、本州付近に梅雨前線が停滞し、12日夜遅くには、石川県、富山県で線状降水帯が発生しました。(令和5年7月18日内閣府)これらの影響により、住家の全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の合計は7,910棟に上りました。(令和6年3月6日 消防庁)

教育環境整備例

麦川小学校 (完了報告書より抜粋 R6.01.07)

線 状降水帯による集中豪雨のため、本校西側を流れる麦川が氾濫し、上流から土砂や木の枝などが校地内に流れ込み、水深は1mを超し、プールにも泥水が流れ込みました。7月上旬には本校の全教職員、美祿市教育委員会、地域住民らによって校舎の中に入り込んだ土砂を洗い流し、手作業で取り除きました。その後、全国からのボランティア、市役所職員、消防団等の協力により、学校の教育活動が再開しましたが、運動場には川の土砂が流れ込んでおり、立ち入り禁止となり、運動場で遊ぶことができなくなりました。

運動場の復旧は一向に進まず、ようやく12月に工事に入り、サッカーゴールが設置されました。昼休みに全児童でサッカーをして楽しみました。約半年ぶりの外でのサッカーに、どの子も笑顔で満足そうな様子でした。子どもたちからは「体育館でやっていたサッカーは、コーンでゴールがせまかったけど、大きいゴー

ルがきて、うれしかったです」「もう運動場でできないと思っていたけど、中学生になるまでに運動場とサッカーゴールが復活して、みんなで久しぶりに遊ぶことができ、とても楽しかったです」といった感想があがりました。



令和5年台風第13号



2023年9月7日から9日にかけて、南から暖かく湿った空気が台風の東側に流入し、台風を中心から離れた場所で雨雲が発達し、関東甲信地方や東北太平洋側では、8日から9日にかけて大雨となりました。このうち、東京都、千葉県、茨城県および福島県では線状降水帯が発生し、これらの地域では1時間降水量が観測史上1位の値を更新し、総降水量が400ミリを超えた地点や平年の9月の月降水量を超えた地点もありました。(令和5年9月29日気象庁)

これらの影響により、住家の全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の合計は6,401棟に上りました。(令和6年3月6日 消防庁)

NPO活動例

SEEDS OF HOPE (完了報告書より抜粋 R6.04.25)

(1)重機による活動

道路わきの土砂や流木の片付けをすることにより車の通行や駐車スペース確保などすることができ、住宅敷地内、搬入路の土砂撤去を行うことで住民の方やボランティアさんが作業するうえで効率よくできるようになりました。河川氾濫により堆積した土砂は臭気があり、周辺住民の衛生面においても問題があったので、生活には関係ない場所に堆積した土砂でもできるだけ撤去し環境改善を行いました。住宅敷地内に多く堆積した土砂は手作業では撤去することが困難であったが、重機により大まかに撤去し、残った土砂をボランティアさんなど手作業できれいに仕上げることで住民さんに喜んでいただけました。



(2)技術系 NPO としての VC との連携、調整、コーディネーション

災害ボランティアセンタースタッフと一緒に被害の大きかった地域を回り、住民の方の実際の声を社協職員

に届けるとともに、今後の復興に向けた見立てや方向性、一般ボランティアと技術ボランティアの役割分担などを共有、アドバイスをを行いました。これらを行うことで、助けを必要とするお宅へスムーズに対応することができ、支援の漏れやムラの防止、被災された方の精神的な負担の軽減、生活再建へ進むための一助に繋げることができました。一般ボランティアと技術ボランティアの役割分担を行うことで家屋復旧や生活再建へのスムーズ化を図ることができました。また、VCボランティアの方と連携できるようコーディネートすることで、地域の各所に搬出される被災した家財をスムーズに運搬でき、災害復旧の迅速化を図ることができました。





令和6年能登半島地震



2024年1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を震源としたマグニチュード7.6の地震が発生。石川県輪島市や志賀町で最大震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強等を観測するなど、非常に広範囲で強い揺れを観測しました。

また、この地震により津波が発生し、石川県珠洲市や能登町では4m以上の津波の浸水高が観測されたほか、新潟県上越市では、津波が陸上を遡った高さを示す遡上高が5.8mに達するなど、広い地域で津波による浸水が認められました。さらに各地で火災が発生し、特に石川県輪島市では、区域内の建物が約240棟焼損し、焼失面積は49,000平方メートルに及ぶ大規模火災となりました。

これらの影響により、石川県では299人(うち災害関連死70人)が亡くなっており、未だ3名の方の行方が分かっていません。住家被害では全壊、半壊、一部損壊を合わせ123,099棟に上り、非住家被害は33,427棟となっています。(令和6年7月30日 消防庁)

活動例

日本財団の災害支援活動

能登半島地震では日本財団として、発災直後に被災地へ赴き、被害状況や災害ボランティアセンターの稼働状況等を確認いたしました。現地で活動するボランティア団体への資金助成を行うほか、珠洲市蛸島に拠点を構え、職員自らも被災地に約8カ月間常駐し、様々な支援活動に取り組んで参りました。



この蛸島拠点から3,000人を超えるボランティアが被災地支援活動を行いました。

発災初期は建物の倒壊や土砂崩れにより通行止めとなっている道路が多くありました。人的被害と比較して、建物などの物的被害は所有者不明や正月ということも重なり、全容把握は困難な状況でした。緊急支援車両や必要な物資がこのままでは届けられない状態にありましたが、重機などを用いて道路啓開の作業を行いながら被害状況の把握に努めました。



手前が啓開後、奥が啓開前。一つひとつ啓開しながら被害状況を把握しました。

次に、本災害では発災初期から長期的な断水が続いたことも大きな特徴の一つでした。そこで日本財団では在宅避難者への毎日の給水・炊き出し・物資提供・無料ランドリーの設置など、駆け付けた災害支援団体や消防有志のボランティアと共に継続して行いました。

また、衛生環境を整えるため、WOSH・WOTA BOXを各避難所等を中心に配備しました。これらは排水の98%以上をその場で再生して循環利用を可能にすることができるため、水道のない場所でも手洗いやシャワー浴などを提供することができました。「地震後断水が続く、手洗いもできずインフルエンザになってしまった人もいます。石鹸で手を洗えるのは本当にありがたいです」「手を洗いたいもんね、ほんとに。つい癖で蛇口をひねってしまうんだけど、まだ出てこないもんね」といった声を頂きました。



避難所に設置されたWOTA。手洗いとシャワー浴が可能となりました。

さらに独自の取り組みとして、志賀町からの要請に基づき仮設の個室風呂を設置し、災害時には我慢を強いられ諦めることの多い高齢者や障害者、ペット同伴

者などに、入浴機会を提供することができました。

重機やチェーンソーなどの動力機材を用いて、倒壊家屋から車や貴重品を救出する技術系支援ニーズにも取り組みました。被災地では思い出の詰まったアルバムや故人の位牌、貴重品が家屋の下敷きになり、何カ月もそのままという状況が続きます。倒壊した家屋からの取り出しは個人では到底できるものではないため、どれだけ必要なもの、大事なものがあっても取り出すことを諦めてしまう方も多くいらっしゃいます。この支援活動は、諦めかけていた大切なものを取り戻し、前向きな一歩を踏み出す選択肢を増やすものに繋がっています。



倒壊家屋から車両の救出を行っている様子。

能登半島の人々は日本海に突き出たその地形、風土を活かし、固有の文化や伝統を維持・継承してきましたが、それらもこの地震において大きな被害を受けました。例えば、主要産業の一つである漁業は、海底の隆起などに伴い県内69漁港のうち60漁港が被害を受けました。財団が拠点を構えた珠洲市にある蛸島漁港では地割れした港の補修作業や海水淡水化装置を用いた漁業支援を行いました。また能登瓦やキリコ祭りなど能登の伝統文化への支援、災害関連死を予防し住民が集うことのできる場の整備など、多岐にわたり支援を継続していきます。



支援事業一覧 ※2024年3月31日時点

	災害名・支援団体数	支援金額(円)
NPO等 支援	令和5年能登地方地震(8団体)	11,620,500
	令和5年梅雨前線による大雨及び 台風第2号(18団体)	14,233,000
	令和5年6・7月の大雨被害(62団体)	79,641,470
	令和5年台風第13号(15団体)	20,281,190
	令和6年能登半島地震(90団体)	122,832,960
教育環境 整備	令和5年梅雨前線による大雨及び 台風第2号(4団体)	3,354,050
	令和5年6・7月の大雨(19団体)	15,724,958
	令和5年台風第13号(3団体)	3,000,000

NPO等支援	5災害	計193団体	支援金額	248,609,120円
教育環境整備	3災害	計26団体	支援金額	22,079,008円
合計219団体			総支援金額	270,688,128円

令和5年能登地方地震
8団体 8事業 11,620,500円

No	団体名	支援決定額(円)
1	(特)レスキューストックヤード	1,251,500
2	(一社)ピースポート災害支援センター	4,500,000
3	(一社)BIG UP石巻	1,000,000
4	災害看護研究所	1,000,000
5	たてもの修復支援ネットワーク	1,000,000
6	(特)災害救援レスキューアシスト	1,000,000
7	チームふじさん	500,000
8	災害ボランティア愛・知・人	1,369,000

令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号
18団体 18事業 14,233,000円

No	団体名	支援決定額(円)
1	茨城NPOセンター・コモンズ	1,000,000
2	リユースエイドテック	1,000,000
3	3.11石巻支援 チームエース	300,000
4	風組関東	1,000,000
5	しぞへか・まめっ隊	818,000
6	河津桜ボランティアセンター	300,000
7	(一社)災害復旧支援グッツシュ隊	300,000
8	災害支援TEAMのらぼら	1,000,000
9	災害支援TEAM B-DASH	1,000,000
10	ユ一・アイ・アソシエーション	715,000
11	災害支援ONE TEAM	1,000,000
12	紀美野町社会福祉協議会 災害ボランティアセンター	300,000
13	(特)わかやまNPOセンター	1,000,000
14	災害支援one love工房	1,000,000

No	団体名	支援決定額(円)
15	災害支援ネットワークNPOかけはし	900,000
16	TASUKE愛	1,000,000
17	RE:BIRTH	600,000
18	(特)SEEDS OF HOPE	1,000,000

令和5年6・7月の大雨被害
62団体 67事業 79,641,470円

No	団体名	支援決定額(円)
1	(一社)Jump	3,000,000
2	いわてNPO災害支援ネットワーク	2,039,970
3	いわて学生ボランティアネットワーク	1,000,000
4	(特)きょうせい大 船渡	1,000,000
5	(特)パワーアップ支援室	1,000,000
6	(一社)OPEN JAPAN	4,980,000
7	(一社)OPEN JAPAN	4,970,000
8	(公財)共生地域創造財団	990,000
9	(宗)青巢稲荷神社	280,000
10	(福)秋田市社会福祉協議会	1,000,000
11	3.11石巻支援 チームエース	400,000
12	NGO災害救援チーム フェニックス救援隊	1,000,000
13	(公社)シャンティ国際ボランティア会	1,000,000
14	(一社)ピースポート災害支援センター	1,000,000
15	(一社)プロボノ消防志	1,000,000
16	(福)世田谷ボランティア協会	1,000,000
17	風組関東	1,500,000
18	(特)防災・災害ボランティア かわせみ	1,000,000
19	(特)神奈川災害ボランティアネットワーク	1,000,000
20	たてもの修復支援ネットワーク	1,000,000
21	ヒューマンシールド神戸	1,000,000

No	団体名	支援決定額(円)
22	(一財)日本笑顔プロジェクト	3,000,000
23	(特)Vネット	750,000
24	チームすぎさん	1,000,000
25	チームふじさん	700,000
26	チームふじさん	1,000,000
27	(特)レスキューストックヤード	1,251,500
28	災害ボランティア愛・知・人	450,000
29	災害ボランティア愛・知・人	1,000,000
30	DRT-JAPAN三重	1,000,000
31	Team Progress	860,000
32	災害支援TEAM B-DASH	1,000,000
33	縁の下のもぐら	1,000,000
34	(特)災害看護支援機構	1,000,000
35	被災地NGO協働センター	1,000,000
36	(特)災害救援レスキューアシスト	2,000,000
37	災害支援ONE TEAM	1,000,000
38	災害支援one love工房	1,000,000
39	出雲市総合ボランティアセンター運営委員会	800,000
40	TASUKE愛	1,000,000
41	RE:BIRTH	1,000,000
42	コミサポひろしま	1,000,000
43	(特) SEEDS OF HOPE	1,000,000
44	(一社) Camp	1,000,000
45	(特)チャルカ・ジャパン	1,000,000
46	(特)九州キリスト災害支援センター	1,000,000
47	災害ボランティア支援隊 決断	800,000
48	復興支援福岡	1,000,000

No	団体名	支援決定額(円)
49	(一社)螢火	1,000,000
50	PublicGate	880,000
51	sien sien west	1,000,000
52	(一社)おもやい	1,000,000
53	(一社)みんなの居場所はちほち	1,000,000
54	九州テクニカルネットワーク	1,000,000
55	九州テクニカルネットワーク	1,000,000
56	(一社)佐賀災害支援プラットフォーム	1,000,000
57	(特)七山むらづくり協議会	990,000
58	DRT JAPAN NAGASAKI	1,000,000
59	(特)有明支縁会	1,000,000
60	みらい見守り隊	1,000,000
61	球磨川流域住民再生ネットワーク	1,000,000
62	(一社)熊本支援チーム	1,000,000
63	災害支援チームK.T.S	1,000,000
64	(特)リエラ	1,000,000
65	(特)地域ひとネット	500,000
66	災害NGO結	1,000,000
67	災害NGO結	2,500,000

**令和5年台風第13号被害
15団体 15事業 20,281,190円**

No	団体名	支援決定額(円)
1	(特) SEEDS OF HOPE	1,000,000
2	コミサポひろしま	1,000,000
3	(一社) OPEN JAPAN	2,860,000
4	(特)災害救援レスキューアシスト	2,200,000
5	(一社) Jump	1,500,000
6	災害支援ネットワークIwaki	1,000,000

No	団体名	支援決定額(円)
7	風組関東	500,000
8	3.11石巻支援 チームエース	250,000
9	(一社)千葉南部災害支援センター	4,525,000
10	おてら災害ボランティアセンターテラセン	1,000,000
11	PVO Kissin'heart 東北	867,500
12	災害支援TEAMのらぼら	1,000,000
13	チームふじさん	1,000,000
14	(特)Vネット	578,690
15	(特)神奈川災害ボランティアネットワーク	1,000,000

**令和6年能登半島地震に関わる支援活動
90団体 90事業 122,832,960円**

No	団体名	支援決定額(円)
1	(特)HAPPY NEW EARTH	1,000,000
2	(特)パワーアップ支援室	1,000,000
3	(特) MAKE HAPPY	1,000,000
4	(特)スマイルシード	1,000,000
5	(一社)とおがったプロジェクト	1,000,000
6	宮城災害支援KIBOTCHAチーム	1,000,000
7	(特)災害医療ACT研究所	8,121,040
8	災害支援アーティストチーム Hello!Art!Japan!	1,000,000
9	(特)自然農園	1,000,000
10	(一社)日本カーシェアリング協会	8,476,400
11	DRT YAMAGATA	1,300,000
12	(一社)こころのケアまごころ	1,000,000
13	(特)とちぎボランティアネットワーク	1,000,000
14	チーム恵比寿	600,000

No	団体名	支援決定額(円)
15	(一社)医療的ケア児等コーディネーター支援協会	955,000
16	福祉支援チームFamSKO	1,000,000
17	DEF~災害エキスパートファーム	3,000,000
18	DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会	2,000,000
19	(特)アラスキッチンカー協会	1,000,000
20	ケアプロ災害支援チーム	1,000,000
21	(特)ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン	1,000,000
22	(一社)ユニバーサルメニュー普及協会	1,000,000
23	災害支援TEAMねこのて3426	1,000,000
24	(特)災害人道医療支援会	1,000,000
25	(一社)情報支援レスキュー隊	1,000,000
26	(特)日本リザルツ	1,000,000
27	(特)日本教育再興連盟	1,000,000
28	(一社)日本災害看護学会	1,000,000
29	(特)アレルギーを考える母の会	1,000,000
30	(特)キャンナス	1,000,000
31	(特)ぐるんとびー	1,000,000
32	緑水の森支援活動	1,000,000
33	(特) OHANA	1,000,000
34	TR_Workers_NAGAOKA	637,000
35	災害応援にゃんこ隊	887,000
36	日本防災士会新潟県支部	517,500
37	とやま311ネット	1,000,000
38	(特) YOU-I	1,000,000
39	いしかわ災害支援機構	659,600

No	団体名	支援決定額(円)
40	(特)じっくらあと	920,000
41	金沢大学ボランティア さぼりとステーション	1,000,000
42	(特)石川バリアフリーツアーセンター	1,000,000
43	(特)多文化協働ネットワーク	995,000
44	北陸学院大学よりその花プロジェクト	920,000
45	(医)オレンジ	1,000,000
46	(特)災害看護研究所	1,000,000
47	Hope Apple	1,000,000
48	TEAM SHIRO	1,000,000
49	災害支援信濃町連絡会	1,000,000
50	親子で息抜きイタリアン	969,420
51	炊き出し救援チームHundredHands	1,000,000
52	長野ブラッシュボランティア	1,000,000
53	(一財)日本笑顔プロジェクト	2,900,000
54	(特)Vネット	1,000,000
55	(特)コミュニティサポートスクエア	1,000,000
56	(一社)こども女性ネット東海	1,000,000
57	チームすぎさん	1,000,000
58	災害ボランティア愛・知・人	2,000,000
59	非営利団体ONiGiRi	1,000,000
60	DRT-JAPAN三重	2,000,000
61	伊勢志摩まちづくり団体 楽笑(Raku-Sho)	1,000,000
62	(一社)KISA2隊	1,000,000
63	(福)あさか会	1,000,000
64	(特)みらいず2	950,000
65	(特)暮らしづくりネットワーク北芝	1,000,000

No	団体名	支援決定額(円)
66	(特)ブレンヒューマニティー	1,000,000
67	ユー・アイ・アソシエーション	1,000,000
68	緑の下のもぐら	1,000,000
69	(特)災害看護支援機構	1,000,000
70	被災地NGO協働センター	3,000,000
71	(特)姫路発 中高生のための 東日本災害ボランティア	1,000,000
72	(特)災害救援レスキューアシスト	3,000,000
73	災害支援ONE TEAM	1,000,000
74	TASUKE愛	1,000,000
75	災害支援ネットワークNPOかけはし	1,000,000
76	DRT-JAPAN広島	1,000,000
77	RE:BIRTH	1,000,000
78	コミサボひろしま	3,000,000
79	(一社)災害支援機構つなぐおんがえし	1,000,000
80	ダッシュ隊徳島	1,000,000
81	(特)SEEDS OF HOPE	4,995,000
82	(特)チャルカ・ジャパン	1,000,000
83	(特)九州キリスト災害支援センター	1,000,000
84	(一社)おもやい	1,000,000
85	DRT JAPAN NAGASAKI	2,000,000
86	Borderless Fire Kumamoto	1,000,000
87	みらい見守り隊	1,000,000
88	球磨川流域住民再生ネットワーク	1,000,000
89	(一社)熊本支援チーム	1,000,000
90	(特)リエラ	3,030,000

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号教育環境整備
4団体 4事業 3,354,050円

No	団体名	支援決定額(円)
1	(学)伸びる会学園 幼保連携型認定 こども園 つつみ幼稚園	1,000,000
2	(福)こぼと	1,000,000
3	(福)絆友会	1,000,000
4	(福)桜樹	354,050

令和5年6・7月の大雨教育環境整備
19団体 20事業 15,724,958円

No	団体名	支援決定額(円)
1	(福)こぼと保育園	1,000,000
2	学校法人見真学園	1,000,000
3	(福)秋田県母子寡婦福祉連合会	1,000,000
4	秋田県立五城目高等学校	1,000,000
5	(学)秋田市旭川幼稚園	1,000,000
6	秋田市立岩見三内小学校	1,000,000
7	秋田市立岩見三内中学校	1,000,000
8	秋田市立城東中学校	934,395
9	秋田市立太平小学校	1,000,000
10	(学)聖霊学園 (聖霊女子短期大学付属高等学校)	1,000,000
11	(学)聖霊学園 (聖霊女子短期大学付属幼稚園・保育園)	930,880
12	美祿市立麦川小学校	352,000
13	(福)麦川福祉協会	213,732
14	山陽小野田市立ねたろう保育園	451,970
15	(医)聖峰会	876,351
16	久留米市立大橋小学校	1,000,000

No	団体名	支援決定額(円)
17	久留米市教育集会所運営委員会 連絡協議会	147,900
18	(福)コスモス会	1,000,000
19	益城町	589,600
20	日田市立小野小学校	228,130

令和5年台風第13号教育環境整備
3団体 3事業 3,000,000円

No	団体名	支援決定額(円)
1	(学)志向学園	1,000,000
2	(学)いわき幼稚園	1,000,000
3	(学)さかえ学園	1,000,000

日本財団 災害復興支援特別基金



近年、線状降水帯による大雨や台風の大型化により、大規模災害が頻発し、深刻な問題となってきました。一方で、首都直下型地震や南海トラフ大地震の発生も懸念され、それらへの備えは喫緊の課題となっています。災害復興支援特別基金は緊急支援に対応するために2014年3月に設置した基金です。

日本財団は2014年3月、東日本大震災などにおける災害復興支援活動の経験から、大規模な災害が発生した際に民の立場で迅速な緊急支援を実施することを目的として、目標額300億円の「災害復興支援特別基金」を立ち上げました。東日本大震災の最大の教訓は、災害対策は起きてからでは遅いということです。大災害が起きたとき、真っ先に動くための支援金を蓄えておく仕組みが必要です。

編集後記

2023年度は日本各地で大規模災害が発生し、多くの被害を受けました。住み慣れた街の景色は一変し、大切な命が失われました。一方で被災地では多くのボランティアや民間団体、企業が連携し支援に取り組み、被災地に寄り添いながら共に踏ん張る姿が見られました。

日本各地で災害が発生している昨今、いつ誰が被災者になってもおかしくありません。私たち一人ひとりが災害や被災することについて知り、備え、伝えること。その積み重ねが命と地域を守ることに繋がると信じています。

当財団は今後も頻発する災害に対して、行政、地域社会、NPO、医療機関、企業などと連携し、民間によるネットワークの力で自助、共助を推進しながら現場のニーズに合った支援や備えを届けてまいります。

災害対策事業部

部長 外海 陽子

災害対策事業チーム

アドバイザー 黒澤 司
チームリーダー 樋口 裕司
高島 友和
スタッフ 真野 優
寺田 歩
江村 拓哉
河合 亜留土
牛草 美帆
石川 祐香子
南 麻紀

作成・編集 日本財団
デザイン・レイアウト 有限会社goodesign

(参考文献)

- 消防庁「能登半島沖を震源とする地震による被害及び 消防機関等の対応状況(第24報)」2024
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20230505notohantouoki24.pdf>
- 気象庁「梅雨前線及び台風第2号による大雨」2023
https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/report/2023/20230623/jyun_sokuji20230601-0603.pdf
- 内閣府「令和5年梅雨前線による大雨に係る被害状況等について」2023
https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/report/2023/20230623/jyun_sokuji20230601-0603.pdf
- 消防庁「令和5年6月29日からの大雨等による被害及び 消防機関等の対応状況(第34報)」2024
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20230629oame34.pdf>
- 気象庁「令和5年台風第13号による大雨」2023
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2023/20230929/jyun_sokuji20230907-0909.pdf
- 消防庁「令和5年台風第13号による被害及び 消防機関等の対応状況(第12報)」2024
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20230907taihu13gou12.pdf>
- 消防庁「令和6年能登半島地震による被害及び 消防機関等の対応状況(第108報)」2024
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20240101notohanntoujishinn108.pdf>



For Social Innovation

日本財団

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

Tel:03-6229-5111 Fax:03-6229-5110

E-mail saigai@ps.nippon-foundation.or.jp